

教育、安全・安心、まちづくりを柱に

平成25年度大田原市当初予算

平成25年度一般会計当初予算額は297億4千万円

東日本大震災の影響や国の財政改革、景気の動向など、内外の財政状況を考慮し、健全な自治体経営を図りながら、「市民一人ひとりが主役となる住みよいまち」の実現を目指し、「新大田原レインボープラン」に掲げる7項目の基本政策に沿って編成しました。 **問** 財政課 TEL (23) 8797

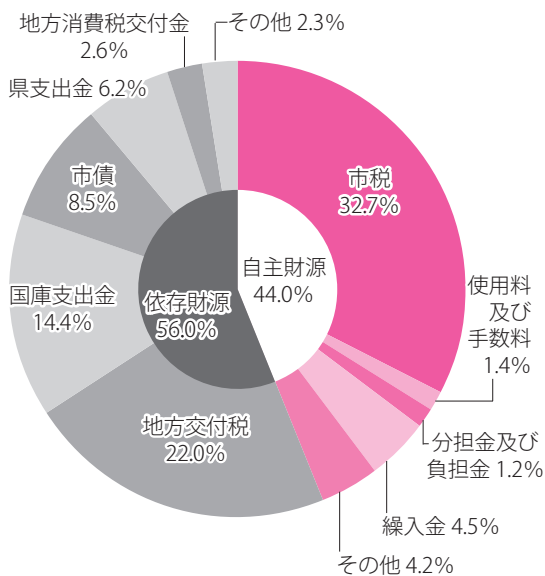
一般会計の概要

一般会計の当初予算額は297億4千万円で、前年度予算と比べ1.1%減となっていますが、実質は国の大型経済対策に呼応した積極的な予算です。

経済好転の兆しが見え始めたとはいえ、依然として厳しい社会経済情勢が続いており、市税収入への影響にも早急な改善が見込めない中、選択と集中により、明日を担う子どもたちの教育のための施策、市民の生命や健康を守るための施策および雇用創出、まちづくりのための施策に特に配慮しました。

国・県の補助事業や交付金事業を積極的に導入するとともに、将来において交付税措置のある有利な長期借入金である合併特例債(8億110万円)を最大限に活用し、市民生活の安全安心を守る取り組みの充実をはじめ、教育・文化の充実、少子・高齢化に対応した総合的な地域福祉施策、景気・雇用対策、まちづくりなどに積極的に取り組むことができるよう、限られた財源の重点的、効率的な配分に努めました。

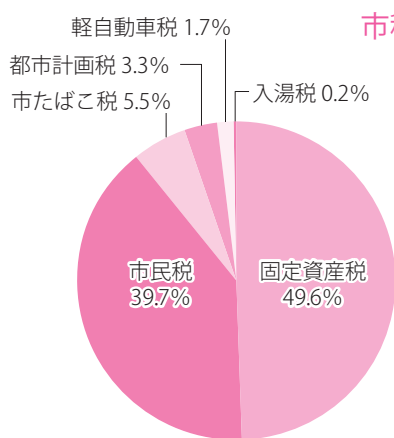
歳入予算



●自主財源と依存財源の内訳

項目	予算額	財源の説明	
自主財源	市税	97億2,508万円	皆さんに納めていただく市民税、固定資産税などの税金です。
	使用料及び手数料	4億1,401万円	市営住宅などの使用料や住民票の交付手数料などです。
	分担金及び負担金	3億6,686万円	他市町村や保育園を利用している方に負担していただいているものです。
	繰入金	13億3,906万円	基金(預金)などから一般会計に繰り入れるものです。
	その他	12億4,915万円	前年度からの繰越金や寄附金などです。
計	130億9,416万円	行政の自主性と安定性を高めるため、自主財源の比率は高い方が良いとされています。	
依存財源	地方交付税	65億5,000万円	全国の市町村が一定の水準を維持できるよう、国から交付されます。
	国庫支出金	42億8,761万円	特定の事業に対し国から支出されるものです。
	市債	25億3,400万円	多くの資金を必要とする事業に対し、国や銀行から借り入れます。
	うち合併特例債	8億110万円	合併市町村で借り入れができる有利な借入金です。
	県支出金	18億5,323万円	特定の事業に対し県から支出されるものです。
	地方税交付金	7億8,000万円	消費税5%のうち1%分が県や市町村に交付されています。
	その他	6億4,100万円	自動車取得税の交付金やゴルフ場利用税の交付金などです。
計	166億4,584万円		
合計	297億4,000万円		

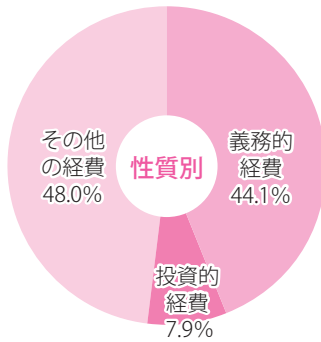
市税の内訳



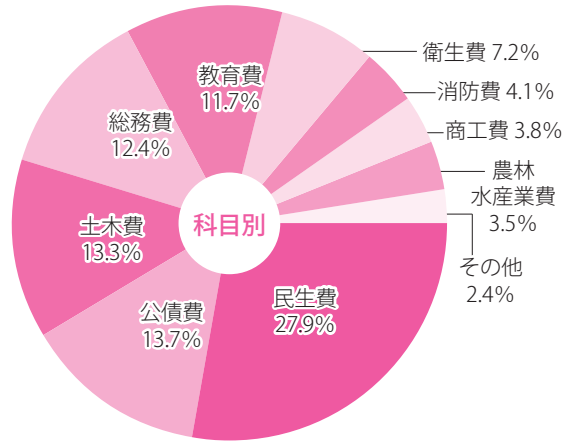
市税は、大田原市の歳入の32.7%を占める貴重な自主財源です。

皆さんに納めていただいた税金は、市民福祉の向上や、道路をはじめとする社会資本の形成の財源として使われています。

歳出予算



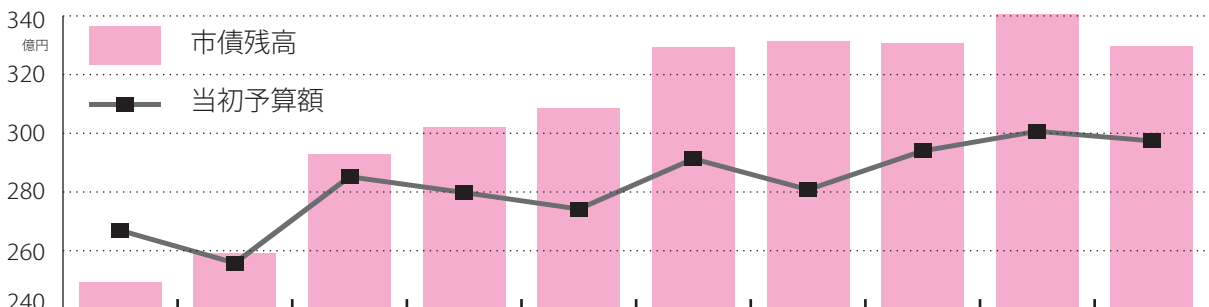
- 義務的経費
人件費、扶助費、公債費（返済金）
- 投資的経費
道路や建物の建設費、災害復旧費など
- その他の経費
物件費、繰出金、補助費など



●歳出予算の科目別内訳

項目	予算額	経費の説明
民生費	82億9,782万円	高齢者や幼児、体の弱い人などを援護する福祉の向上のために使います。
公債費	40億6,655万円	学校や道路、市営住宅などをつくるために借りましたお金の返済に使います。
土木費	39億5,155万円	道路や橋・河川・公園などの整備や、区画整理を行うために使います。
総務費	36億8,337万円	市役所の全般的な仕事や税金関係の仕事のほか、戸籍や選挙などに使います。
教育費	34億7,699万円	小・中学校教育の充実や、文化やスポーツを盛んにするために使います。
衛生費	21億3,340万円	皆さんの健康増進や、ごみ・し尿を処理するために使います。
消防費	12億3,127万円	皆さんの生命や身体、財産などを災害から守るために使います。
商工費	11億4,695万円	商業や工業、観光などを盛んにするために使います。
農林水産業費	10億4,146万円	農業や畜産、林業などを盛んにするために使います。
その他	7億1,064万円	議会費や労働費、災害復旧費などがあります。
計	297億4,000万円	

一般会計の当初予算額と市債残高の推移



年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
市債残高	249.4億円	259.1億円	292.8億円	302.2億円	307.0億円	327.2億円	331.3億円	329.5億円	340.6億円	329.6億円
当初予算額	266.9億円	255.8億円	285.2億円	279.8億円	274.2億円	291.3億円	280.8億円	294.0億円	300.7億円	297.4億円

市債の残高は、平成23年度までは決算額、24年度は見込額、25年度は当初予算額です。

合併特例債事業

合併した市町村で借入できる有利な地方債(※)である合併特例債を積極的に活用し、市内全域で道路や学校などの公共施設の整備を進めます。平成25年度は次の事業で合併特例債を活用します。

※地方債とは多額の費用を要する事業のための長期借入金です。そのうち合併特例債は、借入できる割合が高いことと、返済について国の財政支援措置がある大変有利な地方債です。

市道宇田川佐良土線ほか15路線の道路改良事業債	6億 800万円
中心市街地活性化事業債	1億 770万円
消防施設整備事業債	8,540万円
合計	8億 110万円

特別会計・企業会計

会計名	当初予算額	前年比
特別会計	国民健康保険事業費	83億6,490万円 4.4%増
	下水道事業	19億9,900万円 3.9%減
	農業集落排水事業	1億8,320万円 2.4%減
	介護保険	53億7,700万円 4.7%増
	子育て支援券	1億5,400万円 8.3%減
	後期高齢者医療	5億7,710万円 0.4%減
	須賀川財産区	74万円 1.4%増
企業会計	水道事業	22億9,819万円 2.2%減

経費の削減など

行財政改革を推進するため、財政健全化計画などに基づき次のような項目で経費を削減しています。本年度以降も、引き続き市長・副市長・教育長の給与や、部課長などの管理職手当の削減、職員数の適正な管理による人件費の削減、旅費・消耗品などの経常経費削減、施設管理業務の委託などを積極的に行ってまいります。

項目(一般会計)	平成24年度予算額	平成25年度予算額	削減額	削減内容
給与報酬など	44億6,976万円	44億3,196万円	3,780万円	部課長等管理職手当カット、職員数の減など
参議院議員選挙費 大田原市長選挙費	8,624万円	(前回選挙時) 7,228万円	(前回選挙時と比較) 1,396万円	投票区削減 63投票区→40投票区
経常経費(削減対象分)	4億9,479万円	4億8,375万円	1,104万円	旅費、消耗品費等(2～8%削減)
計	50億5,079万円	49億8,799万円	6,280万円	

平成25年度の主な事業 7項目の基本政策

①明日に伝える文化と学びのまちへ

- 市民大学の開催(一般教養や現代的話題など)
- 公民館事業、高齢者学級、女性セミナー、家庭教育学級などの開催
- 講師の配置事業(算数・数学科目でのつまづき克服を図るチームティーチング講師や理科の実験学習補助のための講師など)
- 小中学校施設整備事業(校舎営繕、プール施設改修など)
- 小中学校児童生徒給食費助成事業
- 全国青少年アウトドア綱引競技大会の開催
- 青少年交流事業(岡山県井原市、米国ウエストコビナ市との小中学生交流事業)
- まちなか図書館運営事業 ○大田原の魅力発信事業

②健康と生きがいに満ちた福祉と医療のまちへ

- 子宝祝金、児童手当支給事業
- こども医療費助成(高校3年生まで)
- 予防接種事業(インフルエンザ、子宮頸がん、小児用肺炎球菌、日本脳炎、ヒブワクチン、4種混合など)
- つどいの広場、子育てサロン事業
- 生活習慣病予防事業 ○不妊治療費助成の拡充
- 障害者自立支援給付事業
- おおたわらウォーキング推進事業

③自然と共生していくまちへ

- 太陽光発電システム設置費補助事業
- 環境フォーラムの開催
- 資源ごみ回収団体への報償制度
- 環境保全型農業直接支援対策事業
- 農地・水保全管理支払交付金事業
- 有害鳥獣対策事業

④活力みなぎる豊かな産業のまちへ

- 新規就農総合支援事業
- 乳牛、肉用牛の導入補助事業
- 園芸振興事業
(ブルーベリーの振興、保冷庫の導入補助など)
- 中小企業事業資金貸付事業 ○起業再出発支援事業補助

- とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業
- 観光推進事業(与一まつり、天狗王国まつり、紫陽花まつりなどの開催費)
- 6次産業化ネットワーク活動支援事業
- 大田原ブランド推進事業

⑤人にやさしい快適なまちへ

- デマンドバス運行事業(黒羽・川西・両郷・須賀川地区)
- お知らせカレンダー作成事業
- 市道宇田川佐良土線などの市道整備事業
- 中央通り金燈籠地区整備事業(市街地回遊路整備、土地地区画整理)
- 大田原市街地地区暮らし・にぎわい再生事業
- 中央通り地区歩行空間整備事業
- 水辺公園整備事業
- 三世代住宅建築費等補助事業
- 新大田原市上水道10箇年整備事業
- 下水道管渠布設工事
- 市の管理する浄化槽設置工事

⑥安全・安心で市民活動がいきづくまちへ

- 防犯灯LED化事業
- 防犯協会、自主防災組織の補助
- 放射線量低減対策事業(除染事業)
- コミュニティ消防センター新築事業
(湯津上第12分団第3部、湯津上第13分団第2部)
- 消防ポンプ自動車等配備事業
- 交通安全施設整備事業
(カーブミラー、区画線等の設置及び修繕)
- 各自治会への運営費交付
- 男女共同参画推進事業
(講座の開催、市民の海外研修補助、広報紙発行)

⑦健全な自治体経営のまちへ

- 地域ICT総合推進事業(情報化計画を策定し、地域情報化を総合的かつ計画的に推進する)
- 施設案内予約システム導入事業
- 住宅土地統計調査 ○大田原市長選挙
- 参議院議員通常選挙